

景気動向調査 令和5年度・第1期（令和5年4月～令和5年6月）

調査概要

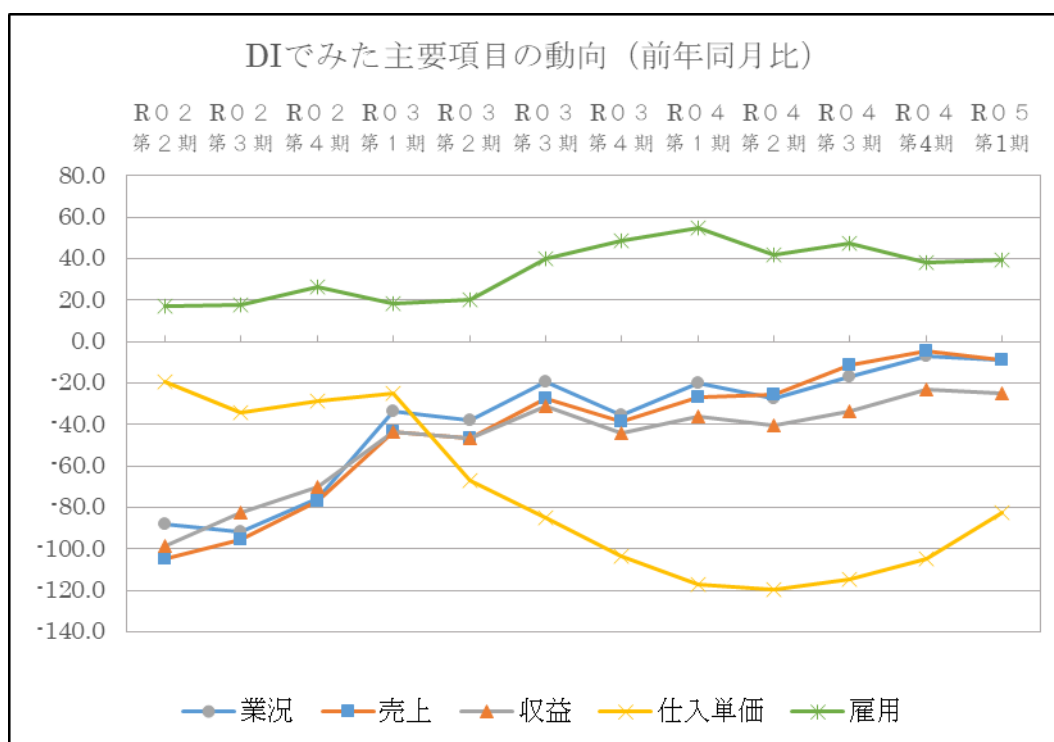
調査対象:赤穂商工会議所管内 120社

回収:92社 回収率:76.6%

調査対象期間:令和5年4月～令和5年6月(令和5年度・第1期)

DI値:「良い＋やや良い」と判断する事業所の割合から、「やや悪い＋悪い」と判断する事業所の割合を差引き、指数で表します。従って、売上高などの実数値を示すものではなく、強気・弱気などの景況感を意味します。

調査結果のポイント



全産業合計DI

区分	R4第4期 (R5年1月～3月)	R5第1期 (R5年4月～6月)	先行き見通し (R5年7月～9月)
業況	△7.0	△8.7	△10.9
売上	△4.7	△8.7	△3.3
収益	△23.3	△25.0	△15.2
仕入単価	△104.7	△82.6	△62.0
雇用	38.4	39.1	40.2

※雇用 DI については、数値が大きいほど人手不足感を表す

○今期の景況をみると、全産業合計の業況DIは前回調査(R4年4期)に比べ1.7ポイント下降の△8.7となった。売上DIは4.0ポイント下降の△8.7、収益DIは1.7ポイント下降の△25.0となり、また仕入単価は22.1ポイント上昇で△82.6、雇用DIは0.7ポイント上昇の39.1となった。

○先行き見通しについては、全産業合計の業況DIは今回調査結果(R5 年 1 期)に比べ 2.2 ポイント下降の△10.9 で、売上DIは 5.4 ポイント上昇の△3.3、収益DIは 9.8 ポイント上昇の△15.2、仕入単価DIは 20.6 ポイント上昇の△62.0、雇用DI は 1.1 ポイント上昇の 40.2 となっている。

売上 D I

区分	R4 第 1 期	R4 第 2 期	R4 第 3 期	R4 第 4 期	R5 第 1 期	先行き 見通し DI	先行き 期待感
全体	△27.0	△25.3	△11.2	△4.7	△8.7	△3.3	5.4
建設業	△73.3	△26.7	△15.4	△7.1	△8.3	△16.7	△8.4
製造業	△44.0	△12.0	4.2	0.0	△10.7	△3.6	7.1
卸売業	△66.7	△50.0	△33.3	△33.3	△20.0	0.0	20.0
小売業	△3.8	△52.0	△17.9	△16.7	△14.8	△11.1	3.7
サービス業	66.7	30.0	11.1	33.3	0.0	10.0	10.0
不動産・ 運輸業	△20.0	△16.7	△33.3	20.0	40.0	40.0	0.0

○産業別の売上DIは前回調査(令和4年 4 期)と比較すると、卸売業が△20.0(+13.3 ポイント)、小売業が△14.8(+1.9 ポイント)、不動産・運輸業が 40.0(+20.0 ポイント)で改善。建設業が△8.3 (△1.2 ポイント)、製造業は△10.7(△10.7 ポイント)、サービス業が 0.0(△33.3 ポイント)で悪化となった。

また、全体の先行き見通し DI は今回調査結果(R5 年 1 期)と比較し△3.3(+5.4 ポイント)となっている。

経営上の問題点 (上位 3 項目)

区分	R4 第 1 期	R4 第 2 期	R4 第 3 期	R4 第 4 期	R5 第 1 期	前回調査比
原材料高	28.1	25.3	19.1	24.4	21.7	△2.7
人手不足	18.0	16.5	20.0	16.3	21.7	5.5
売上の停滞・減少	28.1	27.5	23.6	25.6	18.5	△7.1

○事業所からのコメント

建設業：今後の原材料の上昇に伴い、仕入と売上を連動させられるか不安
 製造業：主力製品の輸出が好調で増収増益となった
 卸売業：瀬戸内海の水産物が漁獲量減少、不漁
 小売業：メーカー生産遅れで、商品の納入が希望納期に間に合わない。
 サービス業：特定の時間に出勤できる者が少なく困っている。

<参考>

有効求人倍率

区分	R5.4月	R5.3月	R5.2月
一般(常用)	0.87	0.92	0.98
パート(常用)	1.06	1.32	1.41
一般+パート(全合計)	0.96	1.10	1.17

